

秋の俳句 優秀作品

一年生

あきのよる すすむしがなく かえりみち

どんぐりの ぼうしがとれた ぴかぴかだ

あきのくも たいいくさいに くじらぐも

二年生

すす虫が お月さま見て ないている

コスモスの においが風と とんで行く

おちてゆく あかにそまった もみじのは

三年生

おつきさま お家の外で 光ってる

どこからか 聞こえてくるよ 虫の声

さつまいも かわをぬがすと 黄色いな

秋の音 耳をすませば きこえるよ

四年生

すずむしは みんなのねむりの サポーター

もみじたち ひらひらおどる ダンス会

お父さん お月さま見て 酒を飲む

五年生

爽籟が イチヨウの木々を ゆらしてく

秋薔薇 再び咲いた 奥ゆかし

ススキの穂 夕日に向かって おじぎする

六年生

食べ食べと 訴えてくる さんまたち

秋の月 雲の間に 出でて照る

彼岸花 赤い火花を 散らしてく

月明かり 団子片手に 帰る道

最優秀賞

【低学年】

コスモスの
においが風と
とんで行く

【中学年】

もみじたち
ひらひらおどる
ダンス会

【高学年】

爽籟が
イチヨウの木々を
ゆらしてく